

防災で未来をつくる

2023 年度 事業計画

【認定】特定非営利活動法人

SEEDS Asia

2023 年 5 月



団体概要

団体のビジョン

災害に負けない持続可能な社会

団体のミッション

最も脆弱な立場にある人々に、命、まち、暮らしを守るための適切な手段や技術、知識、スキル、そして他者とのつながりをもたらすこと

活動目的

アジアにおける環境問題や災害に負けない持続可能な人づくり・まちづくり

活動理念

▼SEEDS Asia が大切にしている 5 つのつながるアプローチ

- 政策と行動
- 科学と実践
- 神戸と東北、アジア世界
- 環境と暮らし
- 過去・現在・未来迅速な行動

行動規範

- 最も弱い立場にある人々へのリーチ
- 参加型意思決定
- 現地環境・文化への適応
- 非差別的アプローチ
- 個人への配慮
- 秀逸の追求



キーワード

人間の安全保障、防災と開発、持続可能性、アジア太平洋地域、より良い復興、包括的學校防災、まちづくり、防災の担い手づくり、理論と実践の相乗効果

事務局所在地・連絡先

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本 1-7-7-307

Tel: 078-766-9412 Fax: 078-766-9413

団体設立

SEEDS Asia は 2006 年 9 月より特定非営利活動法人として活動しています。
なお、2020 年 2 月に神戸市より認定 NPO 法人格の交付を受けました。



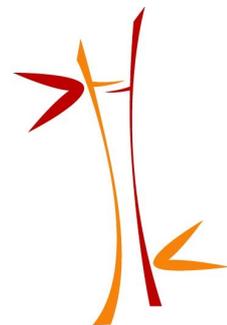
2023年度事業計画

1. 基本方針：SEEDS Asia 2030プラン 5つの方針継続

SEEDS Asia10周年記念会議（2017年）を機に策定された「SEEDS Asia 2030年プラン」の基本方針に基づき、専門的で質の高い防災事業の持続的な運営を成し遂げ、仙台行動枠組・持続的な開発目標の達成に寄与します。

SEEDS Asia 2030：5つの基本方針

- 仙台防災枠組（SFDRR）と持続的な開発目標（SDGs）の達成に寄与し、専門性を活かした質の高い防災事業に取り組みます。
- 事業を通して、SEEDS Asiaのブランドイメージを高めるとともに、事業パートナーを介して、そのブランドイメージのアウトリーチを推進します。
- 事業成果をもとに、収益性のある事業の創出を図り、事業収入の増加を図ります。
- 広報強化により、SEEDS Asiaの認知度を高め、寄付金等の収入増を図ります。
- 多様化された財源を組織の基盤強化に充て、持続的な事業・広報の実施につなげます。



2. 重点活動：4つの優先行動に基づくSEEDS Asiaの8つの重点活動の推進

国内外で災害が甚大化・頻発化する中、防災はよりその重要性を増している。「SEEDS Asia 2030年プラン」では、仙台防災枠組の4つの優先行動に基づき、SEEDS Asiaとして日本を含めたアジアにおける経験や知見を活かし発展させる8つの重点活動を推進し、以下のとおり年度目標の達成に取り組むこととする。

一方、SEEDS Asia 2030年プランの策定から5年が経過した2020年度に、内部モニタリングを実施したところ、成果を測る指標について不足点が見られた。具体的には、各プロジェクトや重点活動の成果を測る共通の指標の開発を通じた団体基準の確立、良質で適正かつ効果的な活動推進に向けたテクニカルアドバイザーの起用を進める必要性が確認された。加えて2020年の新型コロナウイルスの影響により、従来の活動や手法を想定した数値目標の変更が今後生じる可能性が高く、新たなツールやメディアを活用した手法の開発による目標の達成が必要であることが認識され、2023年1月には中間レビューを通じて今後の施策に向けた活動の方向性や重みづけの変更、具体的な事業に関わる意見交換が行われた。この会合を基に2023年度にはSEEDS Asia 2030年プラン改訂版を策定・施行するが、4つの優先行動を基とする8つの重点活動の方針は継続とする。

1) 仙台防災枠組 2015-2030 4つの優先行動と SEEDS Asia 8つの重点活動「2030年プラン」

災害リスクの理解促進	レジリエンスを高める 防災への投資	災害リスクガバナンス 強化	備えの強化と「BBB」
災害リスクの高い地域を中心に、現地の状況やニーズに応じた 防災知識や技術の普及・防災意識の啓発 を実施します。	レジリエンスを高めるための研究者への支援や共同研究等の促進により、 事業と研究のシナジー効果を生み出します。	対象地地域に於ける 復興プロセス による災害リスク管理の体制を強化・推進するため、 指導員を育成すると共に、防災計画の推進に向けた体制と計画整備 を支援します。	緊急支援に始まる復興プロセスの各段階に応じ、 災害前よりもレジリエントな状態を目指した活動を展開 します。また、緊急時にも社会的な脆弱層を視野に入れた人道支援の国際基準に基づく支援をおこないます。
防災/環境教育・啓発	防災研究・調査促進	防災指導員育成	緊急支援・避難者支援
ツールの開発	より安全な建設の推進	防災管理体制強化・促進	コミュニティ防災



2) 2023年度の8つの重点活動実施と達成目標/活動内容の設定

重点活動8項目の2030年目標に向け、各活動の達成度を計る指標を下記のとおり定めた。また別途目標を達成するための戦術についても別途設定した。一部2030年プランにおける達成目標と活動内容変更の検討を含む。

4つの優先事項	8つの重点活動	2023年度の達成目標と活動内容
災害リスクの理解促進	①防災/環境教育・啓発【強化】	目標：4,500人への防災教育や啓発の機会を提供する (日本4,000人、フィリピン500人、バングラデシュ5、インド5、ミャンマー5)
	②ツールの開発【強化】	目標：ウェブサイトにおいて持続的に活用・改善できる防災/環境（気候変動への適応を含む）啓発ツールを公表する ● 全事業地：SEEDS Asiaの各事業地での取り組みや理事・専門家による防災講座を提供（オンライン・有償・英語・シリーズ化）
レジリエンスを高める防災への投資	③防災研究・調査促進【維持】	目標：事業の効果や教訓、アジアの共通課題について研究論文・出版物を発表する/論文・出版物の執筆に協力する ● 各事業の効果的な実施に関わる研究・学术界及び科学研究機関との連携を進める
	④より安全な建設の推進【強化】	目標：安全な建設に向けた政策的提言を発表する ● より安全且つ気候変動対応と環境に配慮した避難所の検討（体制の検討の上、案件化）
災害リスクガバナンス強化	⑤防災の担い手育成	目標：学校・地域・行政の防災計画担い手20名を達成 ● 学校/地域 防災の担い手育成 (日本12人、フィリピン8人)
	⑥防災管理体制強化促進	目標：学校防災計画あるいは地区防災計画に協力する(2か所) ● 2つの事例作成（日本、フィリピン）
備えの強化と「BBB：より良い復興」	⑦緊急支援・避難者支援	目標：災害発生時の緊急支援に向けて寄付金のプールと災害前協定の締結を推進する ● 緊急支援発動基準に基づき、事業開始を判断



		<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急支援用資金源の確保（寄付金の積極的募集）
	⑧コミュニティ防災促進 [維持]	<p>目標：災害による被害が予測されている未災地での活動を展開する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本（鳥羽、奈良） ● フィリピン

3. 特定非営利活動にかかる事業（国・プロジェクト別）

3-1：人材育成事業・その他事業に付随する活動

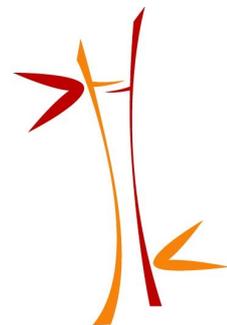
(1) フィリピン

1) フィリピンの被災地における災害遺構整備と気候変動へ対応した防災教育による学校防災強化事業

実施地域	セブ州
期間	2022年11月～2025年10月
従事者	8名
受益対象者	学校の教職員及び児童、行政機関、対象地域住民、地域団体など
資金支援	JICA 草の根（地域活性化特別枠）
SEEDS Asia 2030	防災/環境教育・啓発、防災の担い手育成、防災管理体制強化・促進、コミュニティ防災の推進
SDGs との関連性	    

事業内容：

2013年11月に発生した台風ハイエン（ヨランダ）の被災地である中部ビサヤ地方において、過去の災害の教訓と地域ごとの気象情報の理解促進を通じた「命を守るための判断基準」の確立を目指すトレーニング内容を開発し、そのトレーニングを中部ビサヤ地方内全ての学校で実施するための道筋を教育省第7地方事務所内で計画化するための支援を行う。



SEEDS Asia

2023年度は、SEEDS Asiaと共に事業実施の中心となるメンバーを教育省内で「タスクフォース」として結成し、学校へのトレーニングを担うトレーナーを育成すると同時に、トレーニングを試験的に受けるモデル校の選考を進める。日本国内においては台風ハイエンから10年を機に、オンラインイベント「フィリピン学校防災トーク」を複数回開催する。

(2)ミャンマー

1) 複合的危機下にある児童生徒・学生の教育継続支援

活動地域	ミャンマー国内
期間	2023年4月～2024年3月
従事者	2名（現地職員含む）
受益対象者	児童生徒・学生(100名)
資金支援	個人・法人寄付等
SEEDS Asia 2030	緊急支援・避難者支援
SDGsとの関連性	

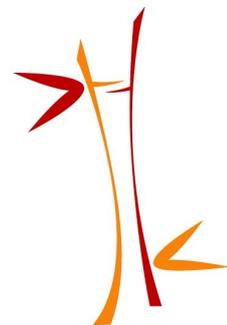
事業内容：

コロナ禍とクーデターによる影響で、約2年に亘って学校閉鎖が続いていたミャンマーにおいて、継続的に支援者を募り、教育継続に向けた機会・物資を提供する。

(3)国内

1) With コロナ時代の復興まちづくり協力/支援事業

実施地域	長野県長野市
期間	2022年4月～2023年6月
従事者	3名
受益対象者	地域住民
資金支援	長野市、ジャパン・プラットフォーム（JPF）支援による統合案件
SEEDS Asia 2030	ツールの開発、防災の担い手育成、緊急支援・避難者支援、コミュニティ防災の推進
SDGsとの関連性	    



SEEDS Asia

事業内容：

台風 19 号による千曲川の氾濫で大きな被害を受けた長野県長野市長沼地区は、今後も起こり得る災害の脅威にさらされていることに加え、今回の災害からの復興期・復興後のまちの在り方を問われている。そこで、本事業では長沼地区住民自治協議会まちづくり委員会と長野市と連携し、長沼地区の復興まちづくり計画となる「ホームタウンながめま」の改訂支援を行ってきた。今年度は、復興まちづくりを担う地域住民の他地区視察の実施とファンドレイジングを支援する。

(4)国内・海外共通

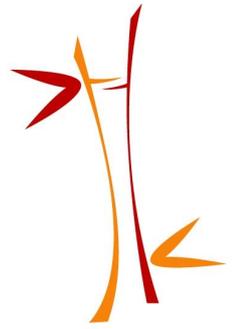


1) 第 3 回アジア子ども会合の実施

実施地域	日本を含むアジアの事業地（オンライン）
期間	2024 年 1 月 17 日
従事者	3 名
受益対象者	SEEDS Asia 事業地の児童
資金支援	一般寄付
SEEDS Asia 2030	防災/環境教育・啓発
SDGs との関連性	

2) 防災/環境（気候変動への適応を含む）啓発オンラインツールの開発

実施地域	日本を含むアジアの事業地（オンライン）
期間	2023 年 7 月～3 月
従事者	3 名
受益対象者	アジアの防災に関心のある若者（主な対象国：フィリピン）
資金支援	一般寄付
SEEDS Asia 2030	防災/環境教育・啓発、防災の担い手育成、防災管理体制強化・促進、コミュニティ防災の推進
SDGs との関連性	



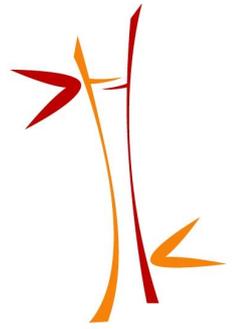
3) 講演、研修

実施地域	依頼に応じて
期間	2023年4月～2024年3月
従事者	5名（理事・アドバイザーを含む）
受益対象者	一般、大学・高校の学生、教員、援助関係者など

未災地支援として、三重県鳥羽市への講師派遣、シンポジウムや学校の授業などを通してアジアや日本の災害と現状、防災教育、コミュニティ防災等についての講演や研修の依頼を積極的に受け入れ、実施する。

【事業スケジュール】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フィリピン： JICA												
ミャンマー： 緊急支援	寄付募集継続											
日本:長野市												
アジア子ども会合												
防災/環境（気候変動への適応を含む）啓発オンラインツールの開発												
その他 （過去事業地でのフォロー、研究関連）												
講演・コンサル業務												



SEEDS Asia

3-2: その他事業に付随する事業（組織強化）

(1) 広報・ファンドレイジング

実施地域	特定非営利活動法人 SEEDS Asia 本部（神戸）
期間	2023年4月～2024年3月
従事者	広報タスクフォース（理事・アドバイザー有志）、事務局
受益対象者	N/A

広報分野では、未実施となっているホームページの改訂（日・英）をおこなう。その改訂にあたっては、現行のホームページの課題を洗い出し、ホームページの改訂によって目指すことを広報タスクフォースと検討・明確化した上で、改訂デザインは外部に委託する。また、隔月で発行するニュースレターは報告のみではなく、イベントへの参加募集や寄付願い、ボランティア募集などの広報ツールとしても活用する。さらにニュースレターの配信対象数を増やし（2022年度末時点で216名/団体→250名/団体へ）、その後の連携、寄付や賛助会員の増加を目指す。また、SNSの活用においては、少なくとも一週間に一度は更新・アップデートし、Facebookの団体への「いいね」の数を増加（2022年度末1,960→目標2,000）、Twitterのフォロワー数も増加を図る（2022年度末76→目標100）。今年度はInstagramのアカウントを新たに開設し、各事業地独自の美しい景観や美味しいものを発信することで、事業地のイメージアップと魅力を発掘する。

緊急支援や自主事業「アジア子ども会合」の資金確保に向けて、スポンサー/サポーターを広く募集すべく、関西圏でのネットワークを強化し、持続的な実施と運営ができる仕組みを確立する。また、関西NGO協議会発行の「NGO研究会報告書 日本の国際協力 NGOの資金調達リデザイン化と財務内容の強化」（2023年）を参考に財務分析をおこない、2030年計画の改訂と合わせて資金調達計画を策定する。

【広報・ファンドレイジングスケジュール】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広報タスクフォース （ホームページの改訂）			活動 計画			—						完成



SEEDS Asia

Webづくり	構成の 提案	理事 会 承認	コンテ ンツ作 成	業者 依頼		開始							
アジア子ども会合」へのスポンサー/サポーター募集													

(2)体制

2023年度は SEEDS Asia2030年プランの中間年となっていることから、昨年度に実施した中間レビューセッションを反映した2030年プラン改訂版を発行する。

また、認定NPO継続に向けて賛助会員15名、団体賛助会員一団体（企業）を2023年度の目標として賛助会員の増加に努める他（現在賛助会員12名）、企業や団体会員の増加に努めます。内部共有システムの改善、各スタッフの人材育成の一環として研修参加を促進する。また、事務所が属する地域コミュニティとの連携・活動を通じてスタッフの能力強化を継続的に行う。今年度の人員増加は事業追加がない限り、原則として予定はないが、各事業ベースでインターンシップの受け入れを状況に応じて検討する。

【組織基盤強化スケジュール（人員体制など）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
理事会・総会		理事 会・総 会										
資格への投資 セミナー参加等	継続											
内部共有システム (クラウド)	Dropbox 継続活用											

【認定】特定非営利活動法人 SEEDS Asia

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本 1-7-7-307

Tel: 078-766-9412

Fax: 078-766-9413

Email: rep@seedsasia.org

Website: <http://www.seedsasia.org>

Facebook: <https://www.facebook.com/SEEDSASIA/>

Twitter: <https://twitter.com/seedsasia?lang=ja>

活動予算書

特定非営利活動法人SEEDS ASIA

(単位：円)

自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月31日

I 経常収益の部		
1 受取正会員費	120,000	
2 受取賛助会費	21,000	
2 受取寄付金	600,000	
3 受取助成金等	3,310,000	
4 事業収益	25,036,400	
5 その他収益	800,000	
経常収入合計		29,887,400
II 経常費用の部		
1 事業費		
(1) 人件費		
給与手当	14,489,000	
法定福利費	1,493,000	
福利厚生費	60,000	
(2) その他経費		
旅費出張費	3,962,000	
業務委託費	750,000	
消耗品費	295,000	
会議費	10,000	
通信費	360,000	
印刷費	39,640	
支払手数料	541,000	
現地賃借費	1,429,000	
現地水道光熱費	240,000	
現地事業費	3,192,000	
諸会費	160,000	
租税公課	20,000	
事業費合計		27,040,640
2 管理費		
(1) その他経費		
水道光熱費	120,000	
地代家賃	1,594,000	
保険料	10,000	
租税公課	1,000,000	
リース料	122,760	
管理費合計		2,846,760
経常費用合計		29,887,400
当期経常増減額		0
当期正味財産増加額		0
前期繰越正味財産額		25,197,184
当期正味財産合計		25,197,184